



漫才を披露する親子。奥は見守るルー大柴さん（左端）と海老原さん  
＝佐世保市、アルカスSASEBO

## 親子漫才に笑いの渦

アルカスSASEBO

ルー大柴さんら 教育問題でパネル討論

【佐世保】佐世保市出身で  
お笑い番組を数多く手掛ける  
放送作家、海老原靖芳さんや  
タレントのルー大柴さんらに  
よるパネル討論「親子で考え  
る教育問題」親と子供でTo  
getherしようぜ」が  
十六日、同市三浦町のアルカ  
スSASEBOであり、親子  
による漫才を通してきずな  
の大切さを確かめた。

長崎、佐賀両県の五十七ク  
ラブでつくる国際ロータリ  
ー第2740地区（鈴木泰彦  
ガバナー）の二〇〇八―〇九  
年度地区大会の一環、一般市  
民を含む約四百人が参加し  
た。

鈴木ガバナーは冒頭で「近  
年、親子間の殺人など日本  
人の心が病んでいる。教育と  
同時に人づくりをもっと考  
えないといけない」と指摘し  
た。

「漫才はコミュニケーション  
の最たるもの」として、海  
老原さんから事前に台本を渡  
されて練習をした市内の親子  
三組が披露。佐世保弁や家庭  
の朝の風景などを題材に笑い  
の渦を巻き起こした。ルー大  
柴さんは「これこそファミリ  
ー」と絶賛。「人を思う気持  
ちがジャパンという国になく  
なってきたが、コミュニケー  
ションを取ることはできるか  
ら、親も子も互いを考えてほ  
しい」とまとめた。

終了後、海老原さんは「（佐  
世保では小六女児事件など）  
悲しい事件があったので、何  
か役に立てればと初めて親  
子漫才に取り組んだ」と語っ  
た。